

森と私たちの暮らし

一般社団法人 東京都森林協会
 発行人 東京都森林協会会長 三谷 清
 〒190-0181
 東京都西多摩郡日の出町大久野7852
 ☎042-597-2881

No.12
 2023年8月



復旧した林道

コロナとの共生と災害からの復旧

令和2年1月23日都内コロナ感染者の報告から3年3ヶ月後の今年5月の大型連休明けと共に、新型コロナウイルス感染症の分類が変更となり、コロナ共生の社会生活が始まりました。

ウクライナ侵攻から端を発した食料問題、エネルギー問題、円安、物価高騰等、様々な課題山積となり、日本経済再生への取組み強化策の実践が求められています。

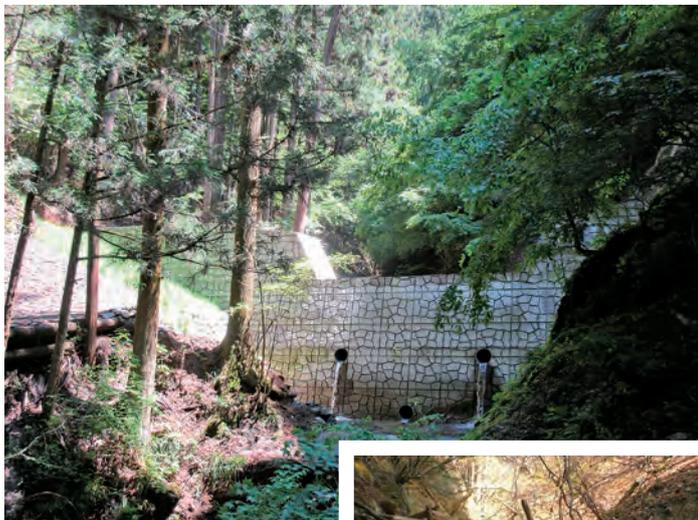
東京都の山林・林道に目を移しますと、コロナ感染症が報告された前年（令和元年）秋に関東地方を通過した台風により、東京都の山林・林道も甚大な被災状況となりました。



台風被災により崩落した林道

東京都の調査では、土砂流出13ヶ所、林道崩落等382ヶ所と報告されています。上記写真は森林循環促進事業として、花粉削減及び多摩産材の安定供給を図る目的で約7haの森林伐採の入り口となる林道であり、道路崩落により伐採も一時中断となり、伐採計画に大きく影響を与える結果となりました。

現在では林道復旧により、伐採後の植栽・下刈り・鹿除けネット設置等の業務の実施可能となり、森林循環促進事業の一翼を担うこととなります。



復旧した治山工事現場



台風19号による被災状況

上記写真は令和3年度治山事業で復旧対策が実施され治水環境が整備されました。

全ての被災箇所の完全復旧に向けて関係者の力が注がれている状況です。

環境月間への取組み始動する!!

環境省の主唱により、平成3年度より6月の一か月間を「環境月間」として全国で様々な取組がなされております。

多摩産材認証協議会では、令和5年6月5日、第21回ふっさ環境フェスティバルの会場となる福生市民会館にて、森林環境の重要性を掲げて、多摩産材認証制度の説明を実施した。

フェスティバルには、前年度までの来場予約の制約もなく、多くの市民が訪れ様々なブースで環境への取組み説明に耳を傾けていた。

市民会館入口展示ホールでは6月20日まで各種参加団体のパネル展示に併せて、森林が有する多面的機能の紹介・森林保全への理解促進のパネル展示を実施した。

また、多摩産材認証協議会では同フェスティバル参加団体である「明治大学校友会東京都多摩支部福生地域支部」から要請を受け、東京都が掲げる「花粉の少ない森づくり募金」の実施に当たり、募金者に多摩産材製品の粗品の配付も行い、花粉削減への取組みへの周知を図った。



来場者の募金風景

5月末に、政府の花粉症に関する関係閣僚会議が開催され、花粉削減に向けて花粉を出すスギの伐採促進と、森林循環促進に向けた「花粉の少ない苗木」の植栽拡大を促進することを「骨太の方針」に盛り込むと報道された。

来場者は森林保全・環境対策への高い関心を示し、「花粉の少ない森づくり募金」活動に積極的な資金提供をいただきました。

募金活動を実施した「明治大学校友会東京都多摩支部福生地域支部」では6月19日に募金活動を主管する公益財団法人東京都農林水産振興財団花粉対策室を訪問し、活動で託された募金を花粉の少ない森づくり運動担当高木課長に手渡し、当日の活動報告を行った。



募金の引渡 (左)山田校友会支部長 (右)高木課長

高木課長より、募金活動へのお礼と今後の森林整備活動への理解と協力要請がなされた。

林業組織総会が4年ぶりに開催!!

コロナウイルス感染症の分類引き下げにより都域林業関係組織も対面・集合方式の会議開催が可能となり、4年ぶりとなる通常総会も多くの参加者により無事に開催されました。

各組織の事業計画が承認となり森林・林業経営の発展を確認し新たなスタートとなりました。

東京都林業研究グループ連絡協議会

東京都林業研究グループ連絡協議会は、都内で活動する林業研究グループ6組織で構成され、全国で開催される植樹祭・育樹祭を初め、都内を会場としたイベントで森林の効用や木材の大切さを都民・消費者に普及啓発の活動を通じて森林・林業への理解促進を行う組織です。



通常総会の審議風景

第56回目の当協議会の通常総会は令和5年6月10日に青梅市内の「武蔵野市民の森自然体験館」で多数の会員参加の下開催され、事業計画・予算が満場一致で承認され、役員改選では、3期6年間に渡り、組織と会員をリードしていただいた福田会長が退任され、後任の会長に八王子市林業研究会の野島氏が選出されました。福田前会長への感謝の拍手と、野島新会長への期待の声の中、総会が閉会となりました。



草木染体験風景

総会終了後には女性林研会員の指導により参加者全員で草木染めの体験を行い、久しぶりに会員の楽しい談笑が続くひと時となりました。

東京都林業改良普及協会

東京都林業改良普及協会は近代的林業経営を推進し、経済の向上を目的に林業普及指導・技術普及に関する情報提供・若手の林業活動の育成等を実践する組織として、昭和47年に設立されました。第54回となる通常総会を6月21日に東京都森林事務所会議室にて開催されました。



田中会長の挨拶

田中会長より、全国林業改良普及協会主催の第56回林業関係広報コンクールにおいて、東京都森林組合のHPが最優秀賞（林野庁長官賞）受賞の報告がありました。

この受賞は、林業普及に対する日頃の業務が高く評価されたものと祝意を表せられた。

総会では提案された議案が満場一致で採択され、令和5年度事業がスタートした。

日本林業経営者協会 多摩会

日本林業経営者協会多摩会は、持続可能で環境保全に配慮された森林の管理・経営を推進し、森林所有者の経営意欲の向上に資することを掲げて、全国組織である一般社団法人日本林業経営者協会と連携し、平成8年から組織化された団体です。通常総会は7月4日に開催され、令和4年度事業報告・令和5年度事業計画が満場一致で承認された。

役員改選で再選された小澤会長より、昨年度計画され、コロナ感染症で中止となった「林業講演会」と懇談会を是非とも開催し、林業経営の発展に向けた情報収集と参加者の情報交換の場といたしたいとの決意表明がなされた。



小澤議長の進行風景

とうきょう森づくり 貢献認証制度



第20回審査委員会開催!!

令和4年度の2回目開催となる第20回とうきょう森づくり貢献認証制度審査会が令和5年3月9日、都庁内会議室におきまして、集合審査方式で開催されました。

今回の申請件数は森林整備サポート認定3件、多摩産材製品による二酸化炭素固定量認定12件となり、各委員の慎重な審査により全ての申請案件が承認となり、3月30日には認定書・認証書授与式が都庁特別会議室にて開催され、山田農林水産部長より認定書・認証書が授与されました。

今回は平成24年度以来となる図面認証済みの什器の購入による二酸化炭素固定量認証の申請もあり、今後の制度利用拡大に向けた普及活動を積極的に展開してまいります。

■森林整備サポート認定部門

◎新宿区 様

あきる野市戸倉地区に開設の「新宿区の森」1.69haの除伐による森林整備が認定となりました。



施業前の森林

◎成友興業株式会社 様

青梅市柚木の民有森林の除伐が認定となりました。対象地区には遊歩道も隣接し、展望が開けた散策も好評です。



施業前の森林



施業後の森林

◎中央区 様

檜原村に開設する「中央区の森」4.49haの間伐整備が認定となりました。



施業前の森林



施業後の森林

■多摩産材製品による二酸化炭素固定量認証

◎越井木材工業株式会社 様

『+biotop (プラス・ビオトープ)』のシリーズで展開する多摩産材ヒノキを使用した屋外家具類9種とスギ・ヒノキで展開する『サーモメッシュフェンス』4種が認証となりました。プラス・ビオトープの家具は日本の豊かな森林資源を未来に繋げていくプロジェクトです。



ベンチ設置風景

◎巴山建設株式会社 様

第19回審査会で認証となった(イトーキ製)家具の購入設置で認証となりました。

- 折り畳み式テーブル …………… 24台
- 会議室用DZテーブル …………… 2台
- 打合コーナー用テーブル …… 1台
- 会議室用ワゴン …………… 1台

上記の家具購入による二酸化炭素固定量は506.40kg-CO2となりました。



DZテーブル・天板ボード型



オリゴテーブル4本脚